

AXIS Camera Station Pro

本ガイドについて

このガイドでは、AXIS Camera Station Proのインストールおよび移行シナリオについて説明します。初めてソフトウェアをインストールされる場合、以前のバージョンからアップグレードされる場合、あるいはシステムを新規のハードウェアに移行される場合でも、ここでは手順を追って説明が行われます。

インストールや移行を開始する前に、システムが適切に構成されていることを確認するため、ハードウェア要件およびライセンス情報を確認してください。

ご自身の状況に合った項目を選択してください：

初めてAXIS Camera Station Proをインストールする場合：

- *AXIS Camera Station Proのインストール, on page 12へ移動します。*

現在AXIS Camera Station 5を使用している場合：

- *AXIS Camera Station 5からAXIS Camera Station Proにアップグレード, on page 13に移動します。ここでは、同一サーバーでのアップグレード、またはアップグレードと同時に新しいハードウェアへ移行する方法について説明しています。*

現在AXIS Camera Station Proを使用していて、別のサーバーへ移行する必要がある場合：

- *AXIS Camera Station Proを新しいハードウェアに移行する, on page 18へ移動します。*

システム要件やライセンスに関する情報が必要な場合：

- *ハードウェアのガイドライン, on page 3を参照ください。*
- *ライセンス, on page 10を参照ください。*

重要

この設定がお使いのシステムに与える影響については、Axisは一切の責任を負いません。変更が失敗した場合や、その他の予期しない結果が発生した場合は、設定を復元する必要があります。

ハードウェアのガイドライン

このセクションでは、AXIS Camera Station Proシステムの設計と設定について説明します。システム要件は、接続されているデバイスの数および生成するビットレートによって異なります。まずは **サーバー要件**, on page 3 および **クライアント要件**, on page 5の表を参照してください。

信頼性の高い録画ソリューションとして、この用途向けに設計および検証されたAxisのネットワークビデオレコーダーおよびワークステーションのご利用をご検討ください。

サーバー要件

次の表に、物理サーバーのサーバー要件を示します。仮想マシンについては、**仮想環境のAXIS Camera Station**についてのテクニカルペーパーを参照してください。

注

最小と書かれた表は、AXIS Camera Station Proを実行するための最小システム要件を示しています。最小要件のシステムは、スマート検索2のフリーテキスト検索機能に対応していません。より多くのシステムリソースを必要とする高度な機能を使用すると、最適なユーザーエクスペリエンスが得られない場合があります。詳細については、**システム設計**, on page 6および **システムメンテナンス**, on page 8を参照してください。

最大128メガビット/秒の録画ビットレート、または8ビデオチャンネル、最大16枚のドア:

	最小	推奨
OS	Windows 11 Pro以降 ⁽¹⁾	Windows 11 Pro以降 ⁽¹⁾
CPU	Intel® Core™ i38th Gen / Intel® AtomまたはCeleron Elkhart Lake	Intel® Core™ i312th Gen
メモリー	8 GB DDR4	16 GB DDR5
OSドライブ	120GB SSD	256GB SSD
ストレージドライブ	単一HDD	単一HDD ⁽²⁾
ネットワーク	NIC x1 @ 1 Gbps	NIC x1 @ 1 Gbps

最大256メガビット/秒の録画ビットレート、または32ビデオチャンネル、最大64枚のドア:

推奨	
OS	Windows 11 Pro以降 ⁽¹⁾
CPU	Intel® Core™ Ultra 5 Desktop / Intel® Core i312th Gen
メモリー	16 GB DDR5
OSドライブ	256GB SSD
ストレージドライブ	単一または複数のHDD ⁽²⁾
ネットワーク	NIC x1 @ 1 Gbps

最大512メガビット/秒の録画ビットレート、または64ビデオチャンネル、最大128枚のドア:

推奨	
OS	Windows 11 Pro以降 ⁽¹⁾
CPU	Intel® Xeon E14th Gen / Intel® Xeon Silver4th Gen scalable

メモリー	16 GB DDR5
OSドライブ	480 GB SSD
ストレージドライブ	HDD x4 RAID 5、6または10 ⁽²⁾
ネットワーク	NIC x2 @ 1 Gbps

最大1500メガビット/秒の録画ビットレート、または150ビデオチャンネル、最大400枚のドア:

推奨	
OS	Windows 11 Pro以降 ⁽¹⁾
CPU	Intel® Xeon Silver4th Gen scalable
メモリー	32 GB DDR5
OSドライブ	480 GB SSD
ストレージドライブ	HDD ×12 RAID 6または10 ⁽²⁾
ネットワーク	2x NIC @ 10 Gbps

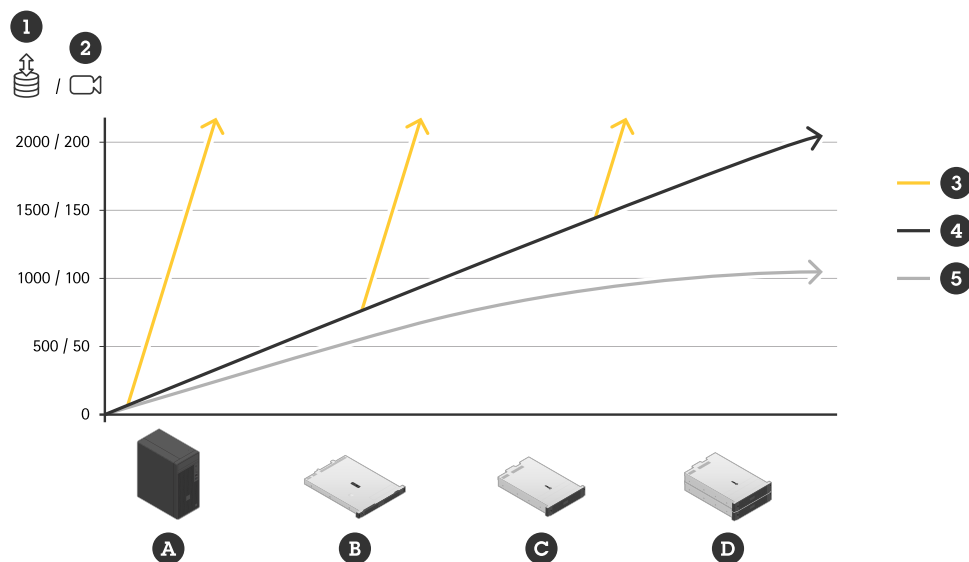
(1)対応しているすべてのオペレーティングシステムの一覧については、リリースノートをご覧ください。Microsoftから提供されている最新のサービスパックを常にご使用することをお勧めします。

(2)最高のパフォーマンスおよび信頼性を得るには、ローカルストレージまたは高パフォーマンスNASをご使用ください。ビデオストレージには、監視クラスまたはエンタープライズクラスのドライブのみを使用してください。

サーバーの拡張性

一般的に、ローカルディスクに録画するシステムは、より高性能なハードウェアを使用することで拡張が可能です。しかし、このアプローチには限界があります。システムが150ビデオチャンネルに近くなる場合は、パフォーマンスの問題を回避し、単一障害点を減らすために、複数のサーバーに分割することをお勧めします。これにより、全体的な耐障害性が向上します (4)。システムの負荷が高くなると予想される場合 (たとえば、トリガーされるイベントが多数ある場合や、複数のオペレーターが同時に再生やスクラビング機能を実行する場合など) は、チャンネル数を少なくして分割することをお勧めします(5)。

ローカルディスクやNASではなく、AXIS S30またはS40レコーダーシリーズに録画することで、サーバーの負荷を大幅に軽減し、性能の低いハードウェアでもより多くのビデオチャンネルを処理できるようになります (3)。この設定であっても、約150ビデオチャンネルごとにシステムを複数のサーバーに分割することをお勧めします。



- 録画ビットレート
 - サーバーあたりのビデオチャンネル数
 - AXIS S30またはS40レコーダーシリーズでの録画
 - ローカルディスクへの録画
 - 多くのアクティブなオペレーターが再生しながら、ローカルディスクに録画
- A. AXIS S1216または同等品
- B. AXIS S1232または同等品
- C. AXIS S1296または同等品
- D. 複数のAXIS S1296または同等品

クライアント要件

注

仮想マシンはクライアントマシンとしてサポートされていません。グラフィック処理の制限により、ライブ閲覧や録画でバッファリングやカクつきが発生します。

4Kサポートと1つのモニター1台による基本的な設定:

	最小	推奨
OS	Windows 11 Pro以降 ⁽¹⁾	Windows 11 Pro以降 ⁽¹⁾
CPU	Intel® Core™ i3 ^{8th} Gen	Intel® Core™ Ultra 5 Desktop / Intel® Core™ i3 ^{12th} Gen
メモリー	16 GB DDR4デュアルチャンネル	16 GB DDR5デュアルチャンネル
OSドライブ	128 GB SSD	256GB SSD
ネットワーク	NIC x1 @ 1 Gbps	NIC x1 @ 1 Gbps
グラフィックスカード	Intel® HD Graphics 630	Intel® UHD Graphics 730

高度設定は4Kに対応し、最大4台のモニターを使用可能:

推奨	
OS	Windows 11 Pro以降 ⁽¹⁾
CPU	Intel® Core™ Ultra 5 Desktop
メモリー	16 GB DDR5デュアルチャンネル
OSドライブ	256GB SSD
ネットワーク	NIC x1 @ 1 Gbps
グラフィックスカード	Nvidia A400または同等品

⁽¹⁾対応しているすべてのオペレーティングシステムの一覧については、リリースノートをご覧ください。Microsoftから提供されている最新のサービスパックを常に使用することをお勧めします。

システム設計

計画

AXIS Site Designerを使用して、システムを計画し、プロジェクトを追跡してストレージスペース、ネットワーク帯域幅、および機器の見積もりを取得します。ネットワークビデオレコーダーのハードウェアを選択する際は、サーバー要件, on page 3を参照してください。

専用サーバー

AXIS Camera Station Proサーバーは、データベース、Active Directoryサーバー、印刷サーバー、テレフォニーサーバーなどの重要なソフトウェアや管理ソフトウェアがない専用コンピューターで実行することをお勧めします。

オペレーティングシステムドライブ

システムドライブにSSDを使用することを強くお勧めします。また、AXIS Camera Station Pro録画用のストレージオプションとして使用するシステムドライブの使用は避けることをお勧めします。これにより、フラグメンテーションやボトルネックを回避しながら、システム全体の安定性を保ち、パフォーマンスを向上させることができます。

ストレージドライブ

最高のパフォーマンスおよび信頼性を得るには、ローカルストレージまたは高パフォーマンスNASをご使用ください。ビデオストレージには、監視クラスまたはエンタープライズクラスのドライブのみを使用してください。

ストレージRAID

ストリーム録画は運用にかなり負荷がかかります。RAIDテクノロジーを使用する場合、監視クラスまたはエンタープライズクラスのドライブと組み合わせた高性能のハードウェアRAIDコントローラーをビデオストレージに使用することをお勧めします。

ネットワークアッタチトストレージ (NAS)

AXIS Camera Station Proは、NASへの録画の保存をフルサポートしています。ただし、NASに録画を保存すると、通常、ローカルディスクを使用する場合に比べてパフォーマンスがわずかに低下します。

ネットワーク

AXIS Camera Station Proは、複数のネットワークカードと複数の異なるネットワークを使用するオプションに対応しています。これにより、AXIS Camera Station Proサーバーが分離されたネット

ワークへの安全なアクセスを提供し、別のネットワーク上にカメラを設置することで、より安全な環境を構築することができます。Axisには、この安全なネットワークレイアウトで設計された購入後ただちに使用可能な録画ソリューションがいくつかあります。

さまざまなクライアントタイプ

難しい制限はありませんが、接続するクライアントの数が増えると、AXIS Camera Station Proサーバーのパフォーマンスに影響します。接続されたクライアントは、クライアントが使用するストリーム数やストリームプロファイルに関わらず、それぞれCPU負荷をわずかに増加させます。AXIS Camera Station ProのWindowsクライアントは、通常、サーバーのパフォーマンスにほとんど影響を与えません。AXIS Camera Station Proモバイルアプリは、影響が非常に少ないです。ただし、AXIS Camera Station Pro WebクライアントとAXIS Camera Station Cloud Webクライアントは、Windowsクライアントと比較して、CPU使用率への影響が若干高くなります。

機能とコンポーネントの使用

AXIS Camera Station Proには「コンポーネント」と呼ばれる複数の新機能が含まれています。そのほとんどは、システムリソースへの影響が軽微ですが、スマート検索2、フリーテキスト検索、およびAxis Data Insights Dashboardは、多数のカメラと併用するとかなりのリソースを消費する場合があります。これらの機能を広範に使用する場合は、それらを使用するカメラの台数を制限するか、より処理能力の高いサーバーを選択してください。この他に、RAMの追加、CPUのアップグレード、より大容量で高速なSSDの使用などのアップグレードが有効です。

Audio Manager Pro

通常、AXIS Audio Manager ProとAXIS Camera Station Proは、同じサーバー上で問題なく動作します。ただし、最適なパフォーマンスのために、以下の場合には分離することをお勧めします。

- 同時音声ストリーム再生またはユニキャスト音声ストリームの数が多いことが予想される場合（ハードウェアによって25~200件）。
- スマート検索2、フリーテキスト検索、またはAxis Data Insights Dashboardなど、CPU使用率が80%を超えるようなリソースを大量に使用する機能を使用する場合。
- CPU使用率が80%を超えるような、複数のカメラのライブビューや再生を同時に実行する場合。
- わずかな遅延や音声の途切れも許容されない重要な状況でAXIS Audio Manager Proを使用する場合。

ハードウェア容量

リソースが限られているハードウェア（例: AXIS S2108）では、AXIS Camera Station Proとの並行して、最大25の同時ユニキャスト音声ストリームを推奨します。

より高性能なハードウェア（例: AXIS S22 Mk II Series、AXIS S12 Series、AXIS S93 Series）では、最大200の同時ユニキャスト音声ストリームを実行できます。

ビデオ録画やライブビューを処理しないサーバー（スタンドアロンまたはAXIS Camera Station Pro内のAXIS Audio Manager Proのみを実行するサーバー）については、最大300の同時ユニキャスト音声ストリームを推奨します。

マルチキャストサポート

AXIS Audio Manager Proのゾーンでマルチキャストを使用すると、各ストリームが一度だけ送信されるため、CPU負荷が大幅に軽減されます。これにより、数百台のスピーカーに対応できます。詳しくは、Axisネットワークオーディオのネットワーク要件についてのホワイトペーパーを参照してください。

注

ネットワークはマルチキャストに対応している必要があります。AXIS S21、AXIS S22、AXIS S22 Mk II、およびAXIS S30 Series の内部ネットワークは、マルチキャストに対応しています。

非ビデオデバイス

AXIS Camera Station Proは、音声デバイス、ドアコントローラー、ネットワークスイッチ、I/Oデバイスなど、幅広い非ビデオデバイスに対応しています。これらの非ビデオ装置は、カメラのようなビデオ装置と比較して、サーバーに同程度の負荷をかけません。一般的に、システムはAXIS Camera Station Proサーバーのパフォーマンスに影響を与えることなく、より多くの非ビデオ装置を処理することができます。

仮想マシン (VM)

AXIS Camera Station Proサーバーは、仮想化されたWindowsマシン上で実行できます。詳細については、仮想環境のAXIS Camera Stationテクニカルペーパーを参照してください。AXIS Camera Station ProクライアントをVM上で実行することは、主にグラフィックの制限からサポートしていません。

電源

予期しないシャットダウンが発生すると、データベースが破損し、ハードウェアまたはWindowsにダメージがおよぶ場合があります。UPSの使用を強くお勧めします。重要度の高いシステムについては、非常用電源回路に冗長電源を追加してください。ご使用の機器で推奨されているUPSについては、機器またはUPSのメーカーにご相談ください。

システムメンテナンス

最初の週

設置後1週間はシステムを注意深く監視することをお勧めします。適切なビデオ画質であることを確認するために、関連するすべての時間の録画素材のいくつかを見直すことをお勧めします。ビデオの品質を確認する際は、ライブビューだけに頼らず、さまざまな照度や活動の多い時間帯の録画もチェックしてください。

空き容量 - オペレーティングシステムドライブ

システムドライブに50 GBの空き容量を確保することを強くお勧めします。ドライブの空き容量がなくなると、クラッシュやデータの破損の危険性が高くなります。

空き容量 - ストレージドライブ

最適なパフォーマンスを得るために、AXIS Camera Station Proのローカルストレージドライブの空き容量を5%に保つように設定することをお勧めします。5%未満に設定した場合でも、AXIS Camera Station Proは機能し、ストレージドライブが一杯になるのを防ぎますが、大規模なシステムではパフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

アンチウイルスとファイアウォール

ウィルススキャナーがデータベースを損傷する場合があります。AXIS Camera Station Pro、そのコンポーネント、および録画に使用するストレージドライブをスキャンから除外することをお勧めします。アンチウイルスやファイアウォールはどちらも、ビデオデバイスからの通信に影響を与える可能性があるため、通信がスムーズに行われるよう確認してください。

アンチウイルスの許可リストに関する推奨事項については、以下を参照してください。

- AXIS Camera Station 5およびAXIS Camera Station Proのアンチウイルスの許可リストには、何を含めればよいですか？

ファイアウォールで許可するドメインおよびポートについては、以下を参照してください。

- Secure Remote Access v2のドメインとポート。
- AXIS Camera Station Proのポートリスト。

バックアップ

AXIS Camera Station Proは、デフォルトでシステムドライブにメインデータベースのバックアップを毎夜実行しますが、これをネットワークドライブに変更することを強く推奨します。外部バックアップやオペレーティングシステムバックアップがシステム性能に影響する場合があります。AXIS Camera Station Proでは、録画のバックアップをオンデマンドで、またはスケジュールごとに設定できます。詳細については、AXIS Camera Station Proユーザーマニュアルのバックアップ データベースを参照してください。

システムのアップデート

Windows Updateでダウンロードやインストールが自動的に行われると、ネットワークのパフォーマンスが低下してシステムが強制的に再起動する可能性があります。これによりAXIS Camera Station Proデータベースが破損するおそれがあります。Windowsとドライバーの更新を適用および監視できるメンテナンスウィンドウをスケジュールすることをお勧めします。

スリープ、ハイバーネイト、サスペンド

絶対に、AXIS Camera Station Proが動作しているコンピューターをスリープ、ハイバネーション、サスペンドさせないでください。レコーディングが止まるだけでなく、予期しない停止によりデータベースを損傷する場合があります。Windowsの電源オプションでこれらの機能をオフにしてください。

ライセンス

サードパーティ製ハードウェアサーバー用のスタンドアロンライセンス1年および5年

Axis装置用のコアサブスクリプションライセンスとサードパーティ製の装置用のユニバーサルサブスクリプションライセンス。

- 02990-001 ACS PRO CORE DEVICE 1y Lic
- 02991-001 ACS PRO CORE DEVICE 5y Lic
- 02992-001 ACS PRO UNIVERSAL DEVICE 1y Lic
- 02993-001 ACS PRO UNIVERSAL DEVICE 5y Lic

ハードウェアに関連付けられたライセンス

コアライセンスは、レコーダーの耐用期間中にハードウェアに含まれ、紐づけられています。ハードウェアに紐づけられたライセンスは、Axisハードウェアにプリロードまたは追加されます(拡張ライセンス)。これらはハードウェアの存続期間に有効であり、他のハードウェアでは使用することはできません。

サーバーにライセンスを追加する場合、CoreとUniversalの拡張ライセンスを提供しています。拡張ライセンスは、ハードウェアの耐用期間中、サーバーにも紐づけされます。

- 02994-001 ACS PRO CORE DEVICE NVR Lic
- 02995-001 ACS PRO UNIVERSAL DEVICE NVR Lic
- 02996-001 CoreをUniversal NVRライセンスにアップグレード

付属のCoreライセンスをUniversalにアップグレードする場合、当社はアップグレードライセンスを提供しています。

「耐用期間」とはどういう意味ですか？

ハードウェアの寿命とは、サーバーのマザーボードの寿命であると当社は考えます。マザーボードなどの重要なコンポーネントを交換したり、機能しなくなったりした場合、ハードウェアに紐づけられたライセンスは無効になります。

ただし、製品の保証期間中にオンサイトサポートサービスがマザーボードの交換を行った場合は例外です。このような場合、ハードウェアに紐づけられたライセンスは引き続き有効です。RMAの場合、障害のあるサーバーに紐づけられているハードウェアのライセンスは交換用ハードウェアに紐づけられているライセンスに置き換わります。

必要なライセンスの数

以下の表では、Axis装置のカテゴリ別に必要なライセンスの数の例を示しています。

製品タイプ	必要なライセンスの数
ネットワークカメラ	1
ネットワークレコーダー	1
装着式カメラ	1
ビデオエンコーダ	1
ビデオデコーダ	1
ネットワークスピーカー	1
ネットワークドアコントローラー	1

製品タイプ	必要なライセンスの数
I/Oモジュール	1 ¹
ネットワークストロボサイレン	1
空気質センサー	1
ネットワークビデオレコーダー (AXIS S30 Series)	0
装着式システムコントローラー (AXIS W8 Series)	0
ネットワークスイッチ	0

1. 一部のI/Oモジュールには、ライセンスが同梱されています。

AXIS Camera Station Proのインストール

2種類のインストールファイルがあります：

- フルインストーラー：メインファイルにはサーバーとクライアントの両方のソフトウェアが含まれおり、メインサーバーのインストールに使用します。
- クライアント専用インストーラー：オペレータワークステーション向けです。

前提条件:

- インストールを行うコンピュータに対する完全管理者権限
- サイレント実行またはパッシブ実行でインストールする場合は、Microsoft Visual C++ 2015–2022 再頒布可能パッケージ (x86 および x64) を事前にインストールしておく必要があります。サポートされている最新のダウンロードは、[learn.microsoft.com](https://learn.microsoft.com/ja-jp/cpp/visual-cpp-downloads/) で確認できます。

Install (インストール):

1. にアクセスし、My Axisアカウントでサインインして、希望するインストーラーをダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、[Yes (はい)] をクリックして装置の変更を許可します。
3. 設定アシスタントの画面に表示される手順に従います。
4. インストールが完了したら、クイックスタートガイドに従ってサーバーをセットアップします。

AXIS Camera Station 5からAXIS Camera Station Proにアップグレード

アップグレードのプロセスを開始すると、元に戻すことはできません。

開始する前に、以下をご確認ください。

- 必要なアップグレードライセンスを購入してください。
- サーバーをAXIS Camera Station 5のバージョン5.58以降にアップグレードしてください。現在のバージョンが4.31.018より前の場合は、まずバージョン5.24にアップグレードした後、5.58以降にアップグレードしてください。
- サーバーが推奨される *サーバー要件, on page 3* を満たしていることをご確認ください。
- 既定のポートが変更されているため、サービスコントロールでポートの設定を確認し、必要に応じて設定を更新してください。詳細については、AXIS Camera Station Pro ユーザーマニュアルのポートリストを参照してください。
- AXIS Camera Station Proで利用可能な新機能についてご確認ください。
- どの組織をシステムに導入するかをご確認ください。組織に関する詳しい情報は、組織へのアプリケーション登録を参照してください。

注

このサーバーに接続するすべてのクライアントPCも、AXIS Camera Station Proに更新する必要があります。

ソフトウェアのアップグレード

ご使用のシステムにAXIS Camera Station 5の最新バージョンがインストールされていれば、既存のサーバー上でAXIS Camera Station Proにアップグレードできます。

- AXIS Camera Station Proのインストーラーをダウンロードして実行します。ソフトウェアアップデートをダウンロードのリストからバージョンを選択してください。
- アップグレードが完了したら、サーバーを再度ライセンス認証する必要があります。
- オンラインサーバーの場合、クラウドサービスおよびセキュアリモートアクセス v2を利用するには、サーバーを導入する必要があります。

サーバーのないコンピューターにAXIS Camera Station 5クライアントがインストールされている場合は、クライアント専用の .msi ファイルをダウンロードしてインストールし、手動でアップグレードしてください。

注

AXIS Camera Station Pro サーバーと AXIS Camera Station 5 クライアントは同時に実行できません。両方ともアップグレードする必要があります。

新規のハードウェアへの移行

ソフトウェアを新規のサーバーに移行される場合は、以下の手順に従ってください：

1. 現在、旧サーバーで使用しているものと同じバージョンのAXIS Camera Station 5を、新しいサーバーにインストールしてください。
2. **AXIS Camera Station**サービスコントロールへ進み、**停止**をクリックして、旧サーバーのサービスを停止します。
3. 旧サーバーのC:\ProgramData\AXIS Communications\AXIS Camera Station Serverにあるメインデータベースファイルを、新しいサーバーの同じ場所にコピーしてください。ProgramDataフォルダーはデフォルトで非表示になっているため、Windowsで隠しファイルを表示する必要がある場合があります。データベースファイルについて詳しくは、「データベースファイル」を参照してください。
4. コンポーネントの設定を新規サーバーにコピーします。コンポーネントのリストア, on page 19を参照してください。

5. 録画が旧サーバーに保存されている場合は、**[Configuration (設定)] > [Storage (ストレージ)] > [Management (管理)]** で指定された録画先から新しいサーバーの同じ場所に移動します。NAS (Network Attached Storage)を使用している場合は、この手順をスキップしてください。

ソフトウェアの復元

新しいサーバーで:

1. AXIS Camera Stationサービスを起動します。
2. AXIS Camera Stationクライアントを起動します。
3. サーバーにログインします。すでに一度サインインしたことがある場合は、この操作が自動的に行われることがあります。
4. 以下の手順に従って、重要な認証情報をリストアします。
 - ルートCA証明書を再生成します。手順については、**ルートCAの生成**を参照してください。
 - 録画データがネットワーク共有に保存されている場合は、**設定 > ストレージ > 管理** に移動し、ネットワーク共有を選択して、**再接続...**をクリックしてください。
 - 新規サーバーでも録画フォルダーへのパスが同じであることを確認し、パスワードを再入力してください。

注

サーバー起動時に録画データにアクセスできない場合、データベースから削除されている可能性があります。この問題を解決するには、サービスを停止してから、ACS_RECORDINGS.FDBを再度置き換えてください。

5. **設定 > 装置 > 管理** に移動して装置のパスワードを入力します。
6. 以下の手順に従って、オプションの認証情報をリストアします。
 - パスワード付きSMTPサーバー：**設定 > サーバー > 設定** に移動し、SMTPサーバーを編集してパスワードを再入力します。
 - パスワードで保護されたHTTP通知の送信アクション：**設定 > 記録とイベント > アクションルール** に移動し、ルールを編集してパスワードを再入力してください。
 - パスワードで保護されたネットワーク共有へのスケジュールエクスポート：**設定 > サーバー > スケジュールされたエクスポート** に移動し、パスワードを再入力してください。
 - パスワードで保護されたネットワーク共有へのインシデントレポート：**設定 > サーバー > インシデントレポート** へ移動し、パスワードを再入力した後、**適用** をクリックしてください。
7. 必要に応じてサーバーにデバイスを追加してください。

サーバーの登録とライセンスの取得

注

AXIS S12、S11、S21、およびS22シリーズは、ハードウェアの使用期間中、無料でアップグレードできます。対象エリアおよび登録済みのライセンスはすべて、レコーダーハードウェアに紐づけられたライフタイムライセンスにアップグレードされます。

その他のハードウェアおよび仮想マシンについては、アップグレードライセンス ACS Pro UPG E-LICENSE (03250-001) を使用する必要があります。

AXIS Camera Station 5からAXIS Camera Station Proにアップグレードすると、既存のライセンスがLicense Managerに自動的に移行されます。

サードパーティ製ハードウェアまたは仮想化環境を使用している場合:

- AXIS Camera Station Proで使用するためには、これらのライセンスのアップグレードが必要になります。

- 各ライセンスにつき、アップグレードライセンスが1つ必要です (1:1の比率)。
- サーバーをアップグレードすると、90日間の試用期間が自動的に開始し、この期間にサービスを中断することなくアップグレードライセンスを注文できます。

必要なアップグレードライセンス数の計算

完全にライセンス付与されるために必要な数より多くのライセンスを取得している場合があります。下記の各シナリオについて、利用状況の報告を確認してください。必要に応じて、利用分に対応する数のライセンスのみをアップグレードするか、すべてのライセンスをアップグレードするかを判断してください。

単一サーバー

まずアップグレードしてから、License Managerで必要なアップグレードライセンスの数を確認します。90日の間に、中断することなくアップグレードライセンスを注文してアップグレードできます。

複数サーバー – 90日以内の移行

まずすべてのサーバーをアップグレードしてから、License Managerで必要なアップグレードライセンスの数を確認します。90日の間に、中断することなくアップグレードライセンスを注文してアップグレードできます。

複数のサーバー – 移行にかかる期間が90日を超える場合

移行にかかる期間が90日を超える場合は、開始する前に以下の手順に従って計画を立てます。

1. AXIS Camera Station 5のライセンスシステムで、ライセンス管理者として登録されているすべてのサーバーを確認します。
2. 他のシステムの管理者になっているはずなのに、名前が表示されていない場合:
 - 2.1. そのシステムにサインインします。
 - 2.2. **[Configuration (設定)] > [Licenses (ライセンス)] > [Manage licenses (ライセンス管理)]** に移動します。
 - 2.3. リンクをクリックし、ライセンスポータルを開きます。
 - 2.4. 認証情報を使用してサインインします。アカウントがその特定のシステムに管理者として追加されます。
3. 各システムに接続されているデバイスとライセンスの数を確認します。
4. 必要なアップグレードライセンスの合計数を計算し、まとめて注文します。

サーバーのライセンスをオンラインで取得する

オフラインでのライセンス取得については、サーバーのライセンスをオフラインで取得する, on page 16にスキップしてください。

1. **[Configuration (設定)] > [Connected services (接続中のサービス)] > [Management (管理)]** に移動します。
2. **登録** をクリックして、画面の指示に従ってサーバーを導入してください。正しい組織に追加していることを確認してください。このアクションは元に戻せません。
3. ライセンスは自動的に移行されます。Axis NVRを使用していない場合は、**製品オーバービュー** に移動し、**サブスクリプションの開始** をクリックしてください。
4. 追加のデバイスを追加した場合、またはサードパーティ製ハードウェアを使用している場合は、追加のデバイスに適用できるライセンスと、既存ライセンスのアップグレード分を追加してください。
 - **製品ウォレット > ライセンスキー** を有効化するに進みます。
 - **[確認]** をクリックします。
5. ライセンスを割り当てます：

- さらにライセンスを追加した場合は、**製品ライセンスへ進む**をクリックしてください。それ以外の場合は、**製品ライセンスタブ**をクリックします。
- 割り当てを調整して、**割り当てを確定**をクリックします。

注

システムがフルにライセンス認証されると、更新時期になるまで新たにライセンスを追加する必要はありません。詳細については、**ライセンス, on page 10**を参照してください。

サーバーのライセンスをオフラインで取得する

1. **設定 > ライセンス > 管理**に移動し、**システムファイルのエクスポート...**をクリックします。デバイスを追加または削除した場合は、新しいシステムファイルをエクスポートし、これらの手順を繰り返す必要があります。
2. システムファイルをインターネットに接続されたPCに移し、**lm.mysystems.axis.com**にアクセスして、My Axisアカウントでサインインします。
3. **システムファイルをアップロード**をクリックして、エクスポートしたファイルをアップロードをアップロードします。
4. **[Product wallet (製品ウォレット)] > [Redeem license key (ライセンスキーの引き換え)]**に移動し、追加デバイスのライセンスを追加するか、サードパーティ製ハードウェアを使用している場合は、ライセンスをアップグレードします。
5. **[確認]**をクリックします。
6. ライセンスを割り当てます：
 - さらにライセンスを追加した場合は、**製品ライセンスへ進む**をクリックしてください。それ以外の場合は、**製品ライセンスタブ**をクリックします。
 - 割り当てを調整して、**割り当てを確定**をクリックします。
7. **システム設定**に移動し、更新されたライセンスファイルをダウンロードします。
8. AXIS Camera Station Proで**管理 > ライセンス > 管理**へ進み、**ライセンスファイルをインポート...**をクリックします。
9. ダウンロードされたファイルを選択し、アップロードします。これでシステムは完全にライセンスされた状態になりました。

オプション機能

サーバー証明書

- サーバー証明書を管理することで、クライアントとサーバー間の接続を保護することができます。**サービスコントロール > 証明書**タブへ進みます。自己署名証明書を生成するか、認証局から証明書をインポートしてください。

装着式カメラの統合

- Axis装着式カメラシステムを統合している場合は、更新されたポートを使用して新しい接続ファイルを生成してください。
 1. AXIS Camera Station Proで、**[Configuration (設定)] > [Other (その他)] > [Connection file(接続ファイル)]**に移動します。
 2. 名前を入力し、エクスポートをクリックします。
 3. 装着式マネージャーで接続ファイルを適用します。
 4. 装着式カメラシステムがAXIS Camera Station Proに録画データを転送できることを確認するため、接続をテストします。

注

移行時にすでに証明書を更新またはインポートしている場合は、再度行う必要はありません。詳細については、**装着式システムの統合ガイド**を参照してください。

Secure Remote Access v2

- セキュアリモートアクセスv2は、システムを導入しライセンスを取得すると自動的に有効になります。ユーザーの追加については、*AXIS Camera Station Pro*セキュアリモートアクセスv2の有効化と使用方法を参照してください。

AXIS Camera Station Proを新しいハードウェアに移行する

重要

データベースに保存されている認証情報は暗号化されているため、データベースをそのまま新しいサーバーマシンにコピーしても使用できません。システムを新しいマシンへ移行した後は、すべての認証情報を再作成する必要があります。

前提条件:

- 旧サーバーに AXIS Camera Station Pro 6.9 以降がインストールされている必要があります。まだアップグレードされていない場合は、開始前に必ずアップグレードしてください。
- すべてのデバイスのパスワード。
- 使用している場合は、以下のパスワード：
 - SMTPサーバー
 - ネットワークストレージ
 - スケジュールされたエクスポート
 - インシデントレポート
 - 元の組織への管理者としてのオンボーディングに使用したMy Axisアカウント。
 - 旧サーバーが使用できない場合は、最新のシステムバックアップファイルを使用してください。Backup database (データベースのバックアップ)を参照してください。
- 旧サーバーが使用できない場合は、最新のシステムバックアップファイルを使用してください。システムバックアップを参照してください。

新しいサーバーの準備

1. 新しいサーバーにAXIS Camera Station Proをインストールします。AXIS Camera Station Proのインストール, on page 12を参照ください。以前のサーバーにインストールされていたバージョンを選択してください。
2. AXIS Camera Station Service ControlからAXIS Camera Stationサービスを起動します。
3. **設定 > サーバー > コンポーネント**に移動し、**コンポーネントの表示**をクリックして、既定で無効になっている Axis Data Insights Dashboard を除き、すべてのコンポーネントのステータスが「実行中」になるまで待ちます。

注

これにより、すべてのコンポーネントが完全にインストールされていることが確認できます。正しくインストールされていない場合、データベースの移行やオンボーディングの際に問題が発生する可能性があります。

4. [AXIS Camera Station Service Control (AXISカメラステーションサービスコントロール)] へ移動し、[Stop (停止)] をクリックしてサービスを停止します。

録画の移行

録画データが旧サーバーに保存されている場合は、旧サーバーの**設定 > ストレージ > 管理**で指定されている録画保存先から、新しいサーバーの同じ場所へ録画データをコピーしてください。

録画データがネットワークストレージまたはS30/S40レコーダーシリーズに保存されている場合は、この手順を省略できます。録画データの再接続は、このガイドの後半で行います。

設定の移行

設定を移行するには、システムに関するすべての認証情報が必要です。これには、デバイスのパスワードに加え、使用している場合は、SMTP サーバー、ネットワークストレージ、スケジュールエクスポート、インシデントレポート、および Secure Remote Access に使用している My Axis アカウントのパスワードが含まれます。

旧サーバーが利用可能な場合：

1. **設定 > コネクテッドサービス > 管理から分離...** をクリックして、My Systems からサーバーを登録解除してください。
2. [AXIS Camera Station Service Control (AXISカメラステーションサービスコントロール)] へ移動し、**[Stop (停止)]** をクリックしてサービスを停止します。
3. C:\ProgramData\AXIS Communications\AXIS Camera Station Serverのコアデータベースファイルを新規サーバーの同じ場所に移動します。データベースファイルを参照してください。ProgramDataフォルダはデフォルトで非表示になっている点に注意してください。Windowsで隠しファイルを表示する必要がある場合があります。

コンポーネントのリストア

移行をサポートする各コンポーネントは、メインのACS設定と共に、毎晩バックアップを実行しています。デフォルトでは、バックアップファイルは14日間保存されます。データベースのバックアップの詳細については、*Backup database* (データベースのバックアップ)を参照してください。

コンポーネントデータベースをリストアするには：

1. [AXIS Camera Station Pro]へ移動し、**[Stop (停止)]** をクリックしてサービスを停止します。
2. データベースバックアップファイルに移動します。
3. PostgreSQLデータベースクラスタをリストアします。
 - 解凍したフォルダーで管理者としてターミナルを開きます。
 - "C:\Program Files\Axis Communications\AXIS Camera Station\Core\DbConsole\DbConsole.exe" restore -backup-file _cluster_ yyyyMMddHHmmssfff.dbcbakupを実行します。
 - バックアップファイルのソースの信頼性の確認を求められたら、**y** をクリックします。
4. AXIS Camera Station Secure Entryを使用する場合は、C:\ProgramData\Axis Communications\AXIS Camera Station\Components\AXIS Secure Entry 2にあるRESTORE_INSTRUCTIONS.txtの手順に従ってください。
5. スマート検索を使用する場合は、smartsearchのsmartSearch-backup-yyyyMMddHHmmssfff.sqlite3をC:\ProgramData\Axis Communications\AXIS Camera Station\Components\AXIS Smart Search\dataにコピーし、smartSearch.sqlite3に名前を変更します。
6. AXIS Camera Station ProService Controlに戻り、**[Start (開始)]** をクリックしてサービスを開始します。

新規サーバーの設定

新しいサーバーで：

1. AXIS Camera Stationサービスを起動します。
2. AXIS Camera Stationクライアントを起動し、サーバーにログインします。
3. 以下の手順に従って、重要な認証情報をリストアします。
 - ルートCA証明書を再生成します。ルートCAの再生成を参照ください。
 - 録画データがネットワーク共有に保存されている場合は**設定 > ストレージ > 管理**に移動し、ネットワーク共有を選択して**再接続...**をクリックします。新しいサーバーでも録画フォルダーへのパスが同じであることを確認し、パスワードを再入力します。

注

サーバーが起動時に録画データへアクセスできなかったため、録画データがデータベースから削除されている可能性があります。これを修正するには、サービスを停止し、ACS_RECORDINGS.FDBを再度置き換えてから、サービスを再起動してください。

- **設定>装置>管理**に移動して装置のパスワードを入力します。

- AXIS Camera Station Service Controlの Certificates (証明書) タブで、サーバー証明書を更新するか、置き換えます。
- 4. 以下の手順に従って、オプションの認証情報をリストアします。
 - パスワード付きの SMTP サーバーが設定されている場合は、**構成 > サーバー > 設定**に移動し、SMTP サーバーを編集してパスワードを再入力します。
 - パスワード付きの「HTTP通知の送信」アクションが設定されている場合は**設定 > 録画とイベント >**に移動し、ルールを編集してパスワードを再入力してください。
 - パスワードで保護されたネットワーク共有へのスケジュールエクスポートが設定されている場合は、**設定 > サーバー > スケジュールされたエクスポート**に移動し、パスワードを再入力してください。
 - パスワードで保護されたネットワーク共有へのインシデントレポートが設定されている場合は、**設定 > サーバー > インシデントレポート**に移動し、パスワードを再入力して**適用**をクリックします。
- 5. 以下の手順に従って、オプション機能をリストアします。
 - Axis Secure Remote Access を使用している場合は、*Axis Secure Remote Access v2* ガイドに記載されている手順に従ってください。
 - システム内にデコーダー (T8705 または D1110) がある場合は、デコーダーに表示するビューを再度設定してください。複数のモニターを参照してください。
 - 装着式カメラシステムが設定されている場合は、新しい接続ファイルを生成し、システムを再度セットアップしてください。Axis装着式システムを設定する方法については、こちらを参照してください。
- 6. まだAXIS Camera Station Proの最新バージョンを実行していない場合は、最新の機能を利用するためにアップデートしてください。

新規サーバーの導入とライセンス取得

新しいサーバーの導入:

1. **設定>コネクテッドサービス> 管理**に移動し、**登録...** をクリックします。
2. **既存の組織**を選択し、**確定**をクリックします。
3. **My Systemsへ移動**をクリックして、登録されている組織を確認してください。

システムにライセンスを付与する:

- サーバーを登録すると、ライセンスは自動的に移行されます。オフラインでライセンス認証を行う必要がある場合は、サーバーのライセンスをオフラインで取得する, on page 16を参照してください。

登録後:

1. **重複デバイス**: My Systemsには重複したデバイスが表示されます。一部は旧サーバーのものであるため、アクセスできない場合があります。削除方法については、**削除機能**を使用して、接続されたサービス内のデバイスとフォルダーを管理する方法を参照してください。
2. **フォルダー名**: My Systems 内のフォルダーには、引き続き旧サーバーのコンピューター名が使用されています。変更するには、フォルダー名の横にある省略記号をクリックしてください。
3. **旧システムのアーカイブ**: 移行後に組織が必要とするライセンス数を正確に算出するためには、旧システムをアーカイブする必要があります。
 - 3.1. **[Licenses (ライセンス)]**に移動します。
 - 3.2. **[System Setup (システムセットアップ)]** をクリックします。
 - 3.3. 移行したサーバーの古いエントリを探して選択します。
 - 3.4.  をクリックし、**[Archive (アーカイブ)]** をクリックします。このアクションを実行すると元に戻すことはできません。続行する前に、正しいシステムを選択したことを確認してください。

T10207643_ja

2026-07 (M16.2)

© 2024 – 2026 Axis Communications AB